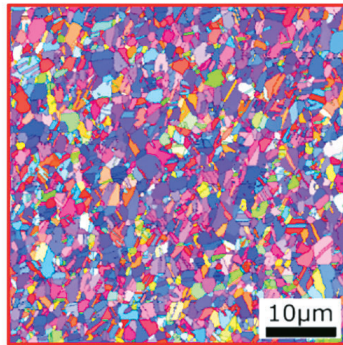
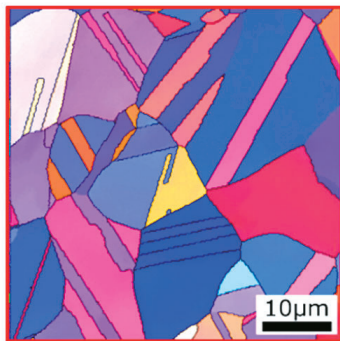


「nanoSUS」の製造範囲拡大

金属組織の結晶粒径を可能板厚を20%拡大し1桁程度まで微細化した。加えてnanoSUSせた超微細結晶粒ステンレス鋼「nanoSUS」も拡充し、新たな用途への製造可能範囲を拡大した。超微細結晶粒を有する

一般的に超微細結晶粒を得るためには高い加工率を必要とするため、製造可能範囲には制約があった。同社のコア技術で

金属材料は、強度や疲労特性の改善に加えて、プレス加工時のバリやダレ、肌荒れの軽減効果が得られる。この効果を活



金属組織例、同社の一般的なステンレス鋼（平均結晶粒径10μm）とnanoSUS（同1μm）

用して液体噴射用オリフィス用途においては液体噴射ばらつきの低減に寄与している。今後、電子機器などの内部品の小型・高精度化に対して、耐久性と加工性に優れるnanoSUSの適用が期待される。

